

清流

川メール

発行日／令和7年1月1日
 発行／静岡県河川協会
 (事務局：交通基盤部河川砂防局内)
 E-mail：kasenk_shizuoka@yahoo.co.jp
 HP：https://shizuoka-kasenk.com/
 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
 TEL：054-221-3032 FAX：054-221-3260



三保松原と富士山(静岡市)



接岨湖(川根本町)
 写真提供：静岡県観光協会

C O N T E N T S

新春挨拶&河川協会の取り組み

- 静岡県河川協会長新春挨拶 1
- 第53回静岡県河川協会総会
- 静岡県河川協会河川等功労者表彰 2
- 令和6年度中部地方治水大会

県内のトピックス

- 治水事業促進全国大会・災害復旧促進全国大会 3
- 水災害の「自分事化」の取組を進めています
- 特定都市河川浸水被害対策法施行条例が公布されました 4
- 津波複合避難施設「Terrasse Orange Toi(テラス オレンジ トイ)」がオープン
- みんなで守る防潮堤in中田島を開催しました
- 河川・海岸愛護団体を表彰しました 5
- 多自然川づくり事例発表会を開催しました

わがまちの川自慢

- 函南町・牧之原市 6

インフォメーション

- 静岡県河川協会県外視察研修会 7
- 令和6年度河川関係事務研修会
- 静岡県河川協会事務局より

静岡県河川協会長新春挨拶

令和7年の新たな年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

会員の皆様をはじめ関係機関の皆様方には、日頃から河川・海岸事業の推進及び当協会の運営に深い御理解と温かい御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今般、気候変動に伴う局地的豪雨の影響により水災害が全国各地で激甚化・頻発化している中、本県も毎年のように記録的な豪雨に見舞われており、昨年も台風第10号の影響により、8月22日から9月4日にかけて断続的に猛烈な雨が降り続き、浸水被害、土砂災害、道路や河川などの公共土木施設にも多数の被害が発生いたしました。

また、昨年は、5年ぶりに中部地方治水大会を本県で開催しました。その折には、あらゆる関係者が当事者意識を持ち、協働して流域全体で水災害による被害を軽減させる「流域治水」の取組を加速化・深化させることの重要性について、参加者一同が強く認識したところでございます。

当協会におきましても、会員間、関係機関との連携を深め、「地域住民の安全・安心」の確保と「魅力ある水辺空間」の創出のため、更なる事業展開を図ってまいりますので、皆様には一層の御支援、御協力をお願いいたします。



静岡県河川協会

会長 頼重秀一（沼津市長）

第53回静岡県河川協会総会

令和6年6月4日、静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」（静岡市駿河区）にて、「第53回静岡県河川協会総会」が開催され、県内の27の市町長と支部長（土木事務所長等）が出席されました。

総会では、河川協会長（沼津市長）の挨拶、来賓祝辞、河川等功労者表彰、静岡県交通基盤部河川砂防局長の山田常任幹事による河川関係事業概要説明の後、議案の審議が行われました。議事では、令和5年度の事業報告と収支決算報告、令和6年度の事業計画と収支予算が原案どおり承認され、副会長（函南町長）による総会決議文の朗読が行われました。

総会の後には、岐阜県大垣市立松副市長による「大垣市における流域治水」と題して記念講演をいただき、岐阜県大垣市における流域治水の取組やかわまちづくりについて紹介していただきました。



第53回静岡県河川協会総会



記念講演（岐阜県大垣市立松副市長）

静岡県河川協会河川等功労者表彰

令和6年6月4日、グランシップ（静岡市駿河区）において「第53回静岡県河川協会総会」を開催し、「令和6年度（第41回）河川等功労者表彰式」を行いました。

県内の治水、利水をはじめ、河川等の環境美化、水防活動等に多大な功績が認められた7団体2個人に対して、頼重秀一会長から賞状と記念品を贈り、受賞者の功績を称えました。なお、表彰式終了後は、会長を始め来賓の皆様、市町長と記念撮影を行いました。受賞された皆様の御尽力と御苦労に対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。



静岡県河川協会河川等功労者表彰

市町名 及び支部	氏名または団体名 (敬称略)	主な功績
西伊豆町 下田支部	宇久須美野里プロジェクト	100名の登録会員が、地域の宇久須川流域とその周辺を大規模に年6回、週末には年16回清掃活動を通じて雑草の無い美しく安全な景観保全に大きく貢献しています。
沼津市 沼津支部	沼川流域を良くする会	沼川流域の6地区連合57自治会で構成され、40年近くにわたりそれぞれの地区で河川清掃や草刈りを行い、ほとんど勾配が無く浸水被害の起きやすい沼川流域の治水対策に役立っています。
函南町 沼津支部	内野 高博	30年以上の長きにわたり、観音川排水機場で内水被害を防ぐために毎月の点検、出水時の排水機の操作等、町との密な連絡を保って地域住民の生命と財産を守っています。
静岡市 静岡支部	三保地区まちづくり推進委員会	昭和57年に設立されて以来、毎回1,100人の住民が参加し年に2回、清水区の三保海岸（延長4,500m、面積67,500㎡）の清掃活動を続け、海岸愛護精神の普及と美化保全に貢献しています。
静岡市 静岡支部	新聞自治会	春には桜並木と菜の花、秋にはコスモスが咲き揃い多くの方が訪れる新聞谷川流域の清掃を長年にわたり年2回、地域住民650人が参加して、河川や里山の景観保全に役立っています。
藤枝市 島田支部	藤枝第5自治会	10年以上にわたり清掃を続け、地域の大谷川・清水川流域を沿線住民の憩いの場としてジョギングや散歩、サイクリングを楽しむ人たちが賑わう美しく保全された環境に保っています。
磐田市 袋井支部	ミズベリング今流美会	今ノ浦川流域で20年以上にわたり除草清掃をするのみならず、植栽、鮎の放流、こいのぼりの掲揚、大学教授や県土木事務所と協働して河川生物の生育環境多様化にも取り組んでいます。
浜松市 浜松支部	芳川をきれいにする会	30年以上にわたり河川の清掃美化保全に取り組むのみならず、不法投棄の監視、小中学生への環境学習支援、水質調査他、様々な活動に熱心に従事し他団体の模範になる活動をしています。
浜松市 浜松支部	日高 良一	平成17年に入団以来19年にわたり水防活動に従事し、令和4年からは浜松市水防団の副団長として昨今の豪雨災害においても率先して指示を行い、団員や地域住民から厚い信頼を得ています。

令和6年度中部地方治水大会

令和6年10月16日、静岡市清水文化会館「マリナート」（静岡市清水区）にて、「令和6年度中部地方治水大会」が開催されました。この大会は、中部地方5県の持ち回りで開催され、今年度は静岡県が開催しました。治水事業の重要性を広く喚起するとともに、国会、政府並びに関係当局に対し、治水利水事業の強力な推進、災害発生時の速やかな対応と多様な治水対策の措置などを提言するために行われ、中部5県の治水関係者等約250名が参加しました。本県からは、知事、市町長、関係者約120名が参加しました。

大会は、第一部として静岡大学防災総合センターの岩田孝仁特任教授に「想像力の欠如に陥らない防災」と題して記念講演をいただきました。第二部の大会では、知事、全水連会長、頼重河川協会長の挨拶に始まり若林洋平参議院議員の御祝辞のほか、来賓祝辞、国土交通省水管理・国土保全局治水課長と中部地方整備局河川部長による治水事業概要説明、草地博昭磐田市市長による意見発表が行われ、最後に大会決議を採択し、次期（令和7年度）開催県を三重県に決定して閉会しました。



令和6年度中部地方治水大会



岩田特任教授による記念講演



挨拶
(頼重会長)



意見発表
(草地磐田市市長)



大会決議朗読
(仁科副会長)



閉会の辞
(難波副会長)

治水事業促進全国大会・災害復旧促進全国大会

令和6年11月11日、災害復旧事業の促進と防災対策の強化推進を要望するため、「令和6年度災害復旧促進全国大会」がシェーンバッハ・サボー（東京都千代田区）で開催され、本県からは中野祐介浜松市長をはじめとする19名の市町長と32名の職員が参加しました。全国各地の災害復旧事業又は災害の防止事業に関し、長年に渡り献身精励し、顕著な功績があった個人及び団体が表彰され、県内から、加茂勝久氏、山本正孝氏の2名が表彰されました。大会終了後、本県選出国會議員18名に対して要望活動を行いました。



災害復旧促進全国大会功労者表彰



災害復旧促進全国大会後の要望活動（平山参議院議員と）

また11月12日には、治水事業費を確保する運動の一環として、「令和6年度治水事業促進全国大会」が同じく砂防会館別館で開催され、本県から21名の市町長と28名の職員が参加しました。大会終了後には、本県選出国會議員18名に対して要望活動を行いました。



治水事業促進全国大会



治水事業促進全国大会後の要望活動（片山さつき参議院議員と）

近年の激甚化・頻発化する豪雨災害に対して、今後も積極的に防災対策の要望活動を行っていきます。

水災害の「自分事化」の取組を進めています

近年の水災害リスクの増大に備えるために、流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で対応する「流域治水」への転換を進めています。流域治水を推進するためには、住民や企業などが水災害リスクを知り、自分事として捉え、主体的に取り組む、水災害の「自分事化」の取組が必要です。

今年度は七夕豪雨災害から50年の節目の年であり、令和6年7月6日には、グランシップにおいて七夕豪雨災害の記録やその後の河川行政の取組等を紹介する「流域治水シンポジウム」を開催しました。また、県内のショッピング施設等におけるパネル展示や小中学校への出前講座、身近な電柱に豪雨災害の浸水深の標示を行うなど、水災害を知ってもらう取組を推進しています。

今後も、水災害の「自分事化」を推進し、あらゆる関係者による流域治水の取組を進めていきます。



流域治水シンポジウムの様子



パネル展示の様子（イオン清水店）

特定都市河川浸水被害対策法施行条例が公布されました

静岡県議会の令和6年12月定例会において、知事提出議案「特定都市河川浸水被害対策法施行条例」が可決され、令和6年12月26日に公布されました。本条例は、特定都市河川浸水被害対策法に基づく特定都市河川の指定に当たり、雨水貯留浸透施設、保全調整池及び貯留機能保全区域の標識の設置等に関し必要な事項を定めるものです。

本条例が施行される令和7年3月31日以降、特定都市河川に指定された流域では、一定規模以上の雨水浸透阻害行為に関する対策工事により設置した雨水貯留浸透施設、浸水被害の防止の観点から指定された保全調整池や貯留機能保全区域であることを明示する標識が設置されます。

標識を見かけた際には、流域治水の取組の一環として、これら施設等が流域内の浸水被害防止に寄与していることを知ってもらい、流域治水への理解を深めてもらうことを期待しています。

津波複合避難施設「Terrasse Orange Toi (テラッセ オレンジ トイ)」がオープン

伊豆市は、松原公園（伊豆市土肥）に「防災」と「観光」の2つの機能を兼ね備えた全国初の津波避難複合施設として、「テラッセ オレンジ トイ」をオープンさせました。災害時は地域の住民や観光客などが避難可能な津波避難タワーとして、平時はレストランや売店のある観光施設として利用できます。

伊豆市は、全国で唯一となる津波災害特別警戒区域（オレンジゾーン）に指定されており、“海と共に生きる”観光防災まちづくりを進めています。



施設外観の様子



竣工式典でのテープカット

みんなで守る防潮堤in中田島を開催しました

令和2年3月に竣工した浜松市沿岸域防潮堤は、災害発生時には津波から地域を守る防災施設であるとともに、平常時には散策やウォーキングなどの健康増進、雄大な景観を楽しむ新たな観光スポットとして、多くの方々に親しまれています。

地域の力を結集して「オール浜松」で作り上げた防潮堤を地域の財産として後世に継承していくため、防潮堤を守る体験イベント「みんなで守る防潮堤in中田島」を令和6年10月26日に開催し、約400名が参加しました。

当日は、市民団体やオイスカ浜松国際高等学校にご協力いただき、防潮堤保全活動や堆砂垣設置体験を実施しました。

防潮堤保全活動では、砂丘と一体化している防潮堤を覆う砂が、飛砂等により減少しているため、参加者に砂丘の入口から防潮堤の上まで砂を運ぶ取組を体験していただきました。

また、堆砂垣設置体験では、防潮堤を覆う砂が、遠州のからっ風で飛散していくのを防ぐために、伝統技術を伝承する市民団体と、地域の高校生が参加者と協力し古くなって朽ちた堆砂垣を作り直しました。

参加した皆様からは、「とても面白かった」「砂を運び、防潮堤・砂丘を守ることに貢献できた」などの感想がありました。



防潮堤保全活動



高校生等による堆砂垣設置体験

河川・海岸愛護団体を表彰しました

県では、県民の暮らしを支える大切な財産である河川や海岸、道路の愛護思想の普及を図っており、7月の「河川愛護月間」「海岸愛護月間」、8月の「道路ふれあい月間」において、重点的な取組を進めています。

その一環として、長年にわたり愛護活動に尽力し、その功績が特に顕著である個人や団体に対し、知事表彰を行っています。令和6年度は、河川海岸関係では4団体への表彰を行いました。

今後とも受賞された皆様の御活躍により住みやすい地域づくりが推進されるとともに、愛護活動の輪が広がっていくことを期待しております。

受賞団体：狩野川を守る会（沼津市）、羽鳥自治会（静岡市）、青葉町南町内会（藤枝市）
段子排水路を見守る会（浜松市）



狩野川を守る会の活動の様子



増井副知事との記念撮影

多自然川づくり事例発表会を開催しました

静岡県では、多自然川づくりを推進しています。その一環として、県内の多自然川づくりの更なる推進に向けた知識習得、意識向上を目的に「静岡県多自然川づくり事例発表会」を令和6年9月18日に開催し、国・県・市町の担当者など68名が参加しました。

本事例発表会では、県出先土木事務所の若手技術者を中心に多自然川づくりにおける様々な取り組み内容を発表し、意見・情報交換を行いました。

今年度の発表会では、静岡土木事務所の二級河川瀬名新川（静岡市）における「ぼくらの川★生き物助け隊 ～瀬名新川・水辺の小さな自然再生～」が、グランプリに選ばれました。

巴川水系の瀬名新川は静岡市街を流れる小河川で、事前に大学生や地域の子供達と共にを行った保全箇所のマーキングや、掘削後に部分的に寄せ石を施工するなど、地域住民を巻き込んだ多自然川づくりを実施しました。

この発表は中部地方整備局管内の直轄事務所や県が参加する中部ブロック多自然サロンでも高く評価され、昨年12月9日に開催された全国多自然川づくり会議においても発表しました。

また、山田辰美常葉大学名誉教授から「静岡県の多自然川づくり・自然豊かで安全な川づくり」と題して、多自然川づくりの基本とは何か、環境配慮をする上での着眼点などを講演いただきました。

今後も、静岡土木事務所の好事例を全県に展開し、より良い多自然川づくりを推進していきます。



事例発表会の様子



瀬名新川でミクリのマーキングを実施



函南町

狩野川は、伊豆市の天城山系を源として北流し、田方平野に流れ出て伊豆の国市壺之上で狩野川放水路に分岐した後、函南町の西端を流れ、来光川、大場川と合流し、沼津市において駿河湾に到達しています。函南町では大場川が流れ込む上流側に川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」を平成31年に整備しました。

川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」は、河川空間を活用した川遊びやカヤック、SUPなどのアウトドアスポーツ、広場での開催される多様なイベントなど、道路利用者や近隣住民交流の場、憩いの場として利用され、心身のリフレッシュと健康増進に役立つ施設となっております。また万一の災害時には、災害復旧の拠点「防災ステーション」として活躍をします。

【お問合せ先】 函南町産業振興課 TEL：055-979-8173



カヌー体験（狩野川）



水辺広場（川の駅）



川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」

牧之原市

牧之原市内を流れる二級河川では、四季折々の景色や行事を楽しむことが出来ます。

春の花時には、榛原地域を流れる勝間田川の港橋から深谷橋にかけての両岸には桜のトンネルができ、桜の名所として毎年多くの方が訪れます。開花の時期に行われる桜祭りの期間中は、桜に提灯が灯され、ライトアップにより浮かび上がる夜桜は幻想的です。

夏のお盆には、相良地域を流れる萩間川の湊橋付近で、さがら灯ろう流しが行われます。

「家内安全」や「世界平和」など思い思いの願いが書かれた灯ろうが、湊橋の両岸から流され、ほのかで優しい光が川面に浮かびます。

秋のお彼岸には、榛原地域を流れる坂口谷川の川岸で見頃を迎えた彼岸花の中に、小学生や地元有志が作った個性溢れる華やかな案山子が現れ、秋を彩る案山子祭りが開催されます。

いずれも地域住民が主催し情緒が溢れる行事ですので、心に残る景色と合わせて、是非一度足を運んで楽しんでみてください。

（具体的な開催時期等については、市ホームページ等でご確認ください）

【お問合せ先】 牧之原市建設課 TEL：0548-53-2628



勝間田川の桜



灯ろう流し（萩間川）



彼岸花とかがし祭り（坂口谷川）

静岡県河川協会県外視察研修会

令和6年11月7日・8日に「静岡県河川協会県外視察研修会」を福岡県で開催し、県や市町の河川事業担当者23名が参加しました。

今回視察した福岡県は、平成29年から4年連続して大雨特別警報が出るなど大変な豪雨災害に見舞われ、最近も線状降水帯が繰り返し発生しています。

そのようななか、国・県・市町が連携してハード・ソフトが一体となった総合的な対策を実施している「金丸川・池町川総合内水対策計画」、河川・砂防・地域が連携し、様々な事業・制度を活用して迅速な復旧を実現した「九州北部緊急治水対策プロジェクト」の現場、現況の河川の直下に地下河川を整備するという全国でも類を見ない、用地確保が困難な都市部における浸水対策のモデルとなり得る「高尾川地下河川トンネル」、柳川市の地域の特色（水郷）を活かし県・市・鉄道会社（西鉄）が連携して掘割整備を通じて賑わい空間の形成を目指す「水郷柳河掘割地区整備事業」等、先進的な取組を学ぶ機会となりました。



令和6年度河川関係事務研修会

令和6年11月27日に「令和6年度河川関係事務研修会」を静岡市（札の辻クロスホール）で開催し、会員（市町の実務担当者や賛助会員）等79名の方が、会場やWEBで参加しました。

研修会では、熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センターの星野裕司教授に「水辺の風景デザイン」と題し、景観の保持を大切にされた治水工事について、わかりやすく御講演いただきました。

また、市町等事例発表では掛川市土木防災課 杉山直也氏に「掛川治水プラン（総合治水計画）」と題して、昨今の気候変動を念頭においた今後10年間に優先すべき治水対策について、島田市観光課 茂川裕行氏には、「大井川の水辺と一体となった観光戦略」と題して観光客の滞在時間を延ばし、さらに周遊してもらえる水辺の賑わい創出の工夫について発表していただきました。

さらに、河川実務講習会として、県の河川砂防局職員4名が、「河川管理責任と水難事故防止」、「流域治水の取組推進」、「防災・減災、国土強靱化のための河川事業における取組」「水防法改正に伴う行政の対応」など、最近の河川行政の取組についての講習を行いました。

いずれも、大変勉強になる研修会になりました。



静岡県河川協会事務局より

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は七夕豪雨災害から50年の節目の年であり、また中部5県の持ち回りで行われている中部地方治水大会の静岡県での開催と、年々激甚化している豪雨災害を身近に、自分事として感じられる年であったのではないかと思います。

ますます治水事業に対する関心を持ち、一人ひとりが自分にできることを考え、対策することも求められてくるのではないのでしょうか。

静岡県河川協会では、これからも、多くの皆様のお役に立てる事業の実施や情報発信に努めてまいりますので、より一層の御指導・御協力をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

お知らせ 行事予定等 ◇令和7年度静岡県河川協会理事会及び総会は、6月に開催を予定しています。

◇中部地方治水大会（三重県開催）は10月28日（火）、災害復旧促進全国大会は11月10日（月）、治水事業促進全国大会は11月11日（火）の開催です。

◇河川関係事務研修会は9月初旬に開催予定です。

◇本年度も好評いただきました静岡県河川協会県外視察研修会は、来年度も開催予定です。

ぜひ会員の皆様方の御出席をよろしくお願い申し上げます。

◇静岡県河川協会では、協会の概要や活動報告の他、河川に関するイベント情報やコラムなど、様々なコンテンツをホームページで公開しています。県内河川や海岸に関するちょっとした話題やイベント情報など、何でも募集しておりますので、情報をお持ちの方は、ぜひメールで河川協会までお知らせください。

☆静岡県河川協会ホームページ☆ <https://shizuoka-kasenk.com/>



【連絡先】〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県河川協会（静岡県交通基盤部河川砂防局内）
TEL：054-221-3032 FAX：054-221-3260 E-mail：kasenk_shizuoka@yahoo.co.jp